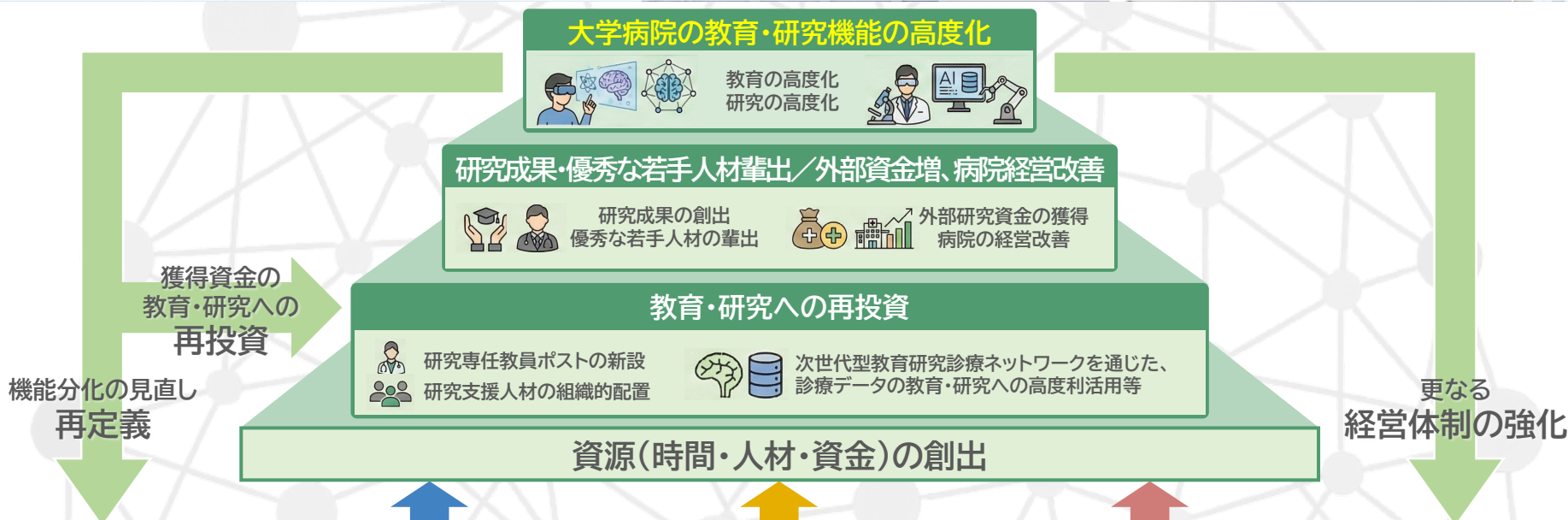
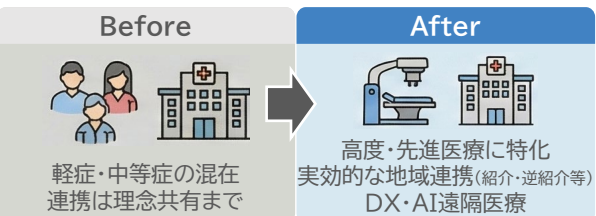


大学病院の機能強化と教育・研究高度化（改革ビジョンの全体像）

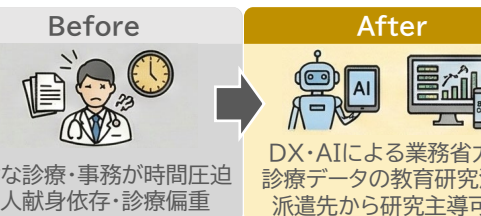


柱1: 地域医療機能分化と診療機能重点化



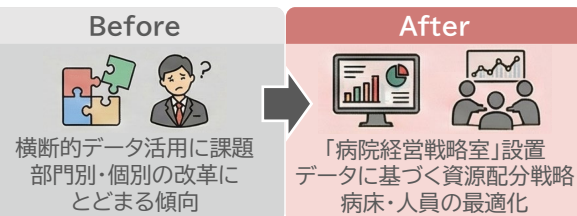
KEY 地域連携プラットフォーム（みえの未来医療会議等）

柱2: DX・デジタルヘルスの推進



KEY 診療業務の効率化&次世代研究の基盤

柱3: 戦略的病院経営



KEY 病院経営戦略室（経営人材×経営DX人材）

次世代型教育・研究・診療ネットワーク（全ての構造転換のインフラであり、加速化のエンジン）

改革の実現可能性を示す「確かな実績」

- ガバナンス: マネジメント主導型の経営を既に実装済み**
 病院長主導のマネジメント会議を週2回開催し、診療科別収支分析などを継続的に実行中
- 地域連携: 「みえの未来医療会議」を主宰**
 令和4年度より県や医師会等と連携プラットフォームを設立し、地域医療構想の実行に向けた合意形成を推進
- 医療DX: 「構想」ではなく「運用」フェーズ**
 電子処方箋や地域画像連携などを先行導入しており、日常診療レベルで既に先進的なDXを運用している
- 全学支援: 大学本部と一体となった推進体制**
 学長主導の医療経営勉強会や、全学DX推進組織「MUDX Initiative」など、大学全体の強固なバックアップ体制

大学病院の機能強化と教育・研究高度化（補助事業での取組み）



資源創出策(柱1~3)及び、教育・研究への投資を同時並行で実施することで、改革ビジョンのサイクルを加速化させる

地域連携プラットフォーム (みえの未来医療会議等)

三重県市長会、三重県町村会、鈴鹿市

6者懇談会
三重県



三重県医師会、三重県薬剤師会、三重大学関係病院長会議
三重県病院協会、三重県看護協会

三重大学
(学長・病院長・医学部長)

県医療計画と直結した
実効的な意思決定
プラットフォームへ

県域医療ルール策定
機能分化の合意形成

補助事業での取組み内容

(1) 大学病院の機能強化

(1)-① AI・経営戦略室による「時間創出と意思決定の高度化」

診療業務効率化AIシステムを導入。経営戦略室を新設し、経営・DX人材を配置してデータに基づく資源配分体制を構築



(1)-② 「研究専任教員」を核とした「研究力の抜本的強化」

研究専任教員10名を新設。データマネージャーや研究支援人員を増員し、事務・解析から教員を解放する体制を整備



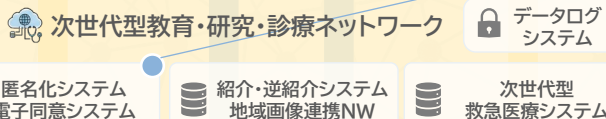
(1)-③ 次世代クラウド型教育プラットフォーム構築

医学教育VRとクラウド基盤の導入、ロボット手術教育プラットフォームの拡充により、次世代クラウド型教育環境を構築



臨床研究専用共有サーバ 高度症例の集約(機能分化) ハイブリッド医師派遣

紹介 中・軽症患者



診療データ 重症患者 逆紹介 遠隔ER

三重県内の医療機関



補助事業での取組み内容

(2) 地域との連携強化

(2)-① 地域連携プラットフォームによる「県域ガバナンスの確立」

既存のプラットフォームを県医療計画と連動する意思決定基盤とし、大学病院への高度医療集約を政策的に決定



(2)-② 次世代型地域臨床研究ネットワーク基盤の整備

研究用ゲートウェイを設置し匿名化・同意管理機能を導入。専用サーバを新設し、多施設の研究データを自動収集



(2)-③ 「遠隔ER」と「ハイブリッド派遣」による「地域定着モデル」の構築

遠隔ER支援拠点を整備。システムを派遣先病院へ拡大し、遠隔でリアルタイムに診療・手術指導を行う体制を構築

